

第5号

与謝野晶子通信

潮の遠鳴り



文化学院蔵

久しぶりの堺で 剣持 弘子

その記録は晶子倶楽部にも残っているはずで、私が今更ここに繰り返すことはないのですが、会議が終わった後、思いがけない出会いがあったのに、時間に追われ、余韻を残したまま、帰ってきてしまいました。

晶子の末娘、藤子さんとは同じ小田急沿線に住んでいたこともあり、その後お会いする機会があったのですが、もう1人気になる方がいました。

「弟よ、君死にたまふことなかれ」の弟、籌三郎の孫です」と自己紹介された若い女性です。その後、晶子倶楽部の方に調べてもらって、連絡をとりあうことができたのですが、その女性、鳳理子さんと再会することができました。

また、「さかい利晶の杜」を丁寧に案内していただくことができましたが、よく工夫された展示で、予想以上に感銘を受けました。

短い時間内でしたが、小学校の頃から気になっていた仁徳天皇御陵は、肉眼で全体は見られなかったのですが、映像で紹介していただき、感謝しています。堺は若ければもう一度行ってみたい町です。

(※剣持弘子さんは、与謝野晶子の5歳下の妹里の孫にあたります。)



さかい利晶の杜にて
前列、左端は次男の妻、私。
後列左から、鳳理子さん(与謝野晶子の弟、籌三郎の孫)、私の妹、私の次男、森下芸員、私の長男とその妻。

平成4年に「堺の晶子から世界の晶子へ」という国際詩歌会議が堺で開かれ、パネリストの1人として、思いがけず、私も参加することにになりました。

与謝野晶子の生きた時代と現代——随筆評論から見る視点、視線—— 瀧本 和成

昨年(二〇二四)七月に宮崎駿監督作品『君たちはどう生きるか』が公開され、国内外で大反響を呼び、今年三月アカデミー賞長編アニメーション映画部門賞を受賞したことは、皆様も記憶に新しいかと思えます。この作品は、吉野源三郎の同名小説(一九三七)に由来していることは皆様もご存知かと存じます。吉野や晶子が生きた大正・昭和初期は、軍国主義が蹄音を高めて行くなかで閉塞感が支配して行く時代であったと言えます。一方で「教養主義」や「文化主義」が称えられ、「生きがい」が追求された時代でもありました。時代閉塞状況に対して「文学」が応えることが求められ、ジャンルとしての随筆評論がその一翼を担ったと言えます。現代社会の疲弊感、文学や芸術に逆照射を齎すと言って良いかと思えます。現代と過去を短絡的に繋げる思考は避けねばなりません。が、そうした意味において源三郎や晶子が生きた時代と現代とは、右記の視点からどこか通底するところがあるのではと考えます。

この時期晶子の随筆評論は、雑誌「明星」(第二次)誌上だけでも三〇篇を超えます。



昨年(二〇二四)七月

「現にどの方面でも、最も活動してゐる人達程落着いて読書し、芸術を楽み、瞑想に耽ると云ふ大切な生活を欠いてゐる」(「明星」第二巻第七号 大一一)

「人間の事には唯だ便利一方を標準にして決定してよい事がたくさんあります。併し芸術とか学問とか道義とかの問題になると不便に第二の条件となり、美不美、正不正、善不善がその第一の標準にならなければならぬと思ひます」(「明星」第六巻第二号 大一一四)

と述べているように、弱くて繊細なるもののなかにある人間的な優しさの所在を文学や芸術に求める姿(態度)が見て取れます。そのような人間性を表すところに「文芸」というものの役割と必要性を考えていたのではないでしょう。彼女の随筆評論に見られる一貫した視線(眼差し)を現代に生きる私たちはあらためて感受すべきではないかと思っています。

与謝野晶子倶楽部紹介

与謝野晶子倶楽部は全国の晶子研究者や歌人、愛好者などで、平成9年に堺市で創設されました。堺に生まれ、堺で晶子の業績・生き方について広く市内外に発信し、与謝野晶子の顕彰事業を行っています。

さかい利晶の杜を中心に、晶子フォーラムや晶子入門講座、短歌セミナーなど分かりやすい講座を開催していますので、ぜひお気軽にご参加ください。

各部会からの活動報告とお知らせ

企画・広報部会

たつみ 都志

令和6年怒涛のような源氏ブームの中「京都・滋賀一泊二日の旅」も無事終了。令和7年度のテーマは「三大女性歌人」。講師の山本淳子先生はNHKの「源氏物語」の考証スタッフとして大活躍された方。そんな秘話も期待できるかも！

調査研究部会

太田 登

令和6年度は、「君死にたまふことなかれ」120年を記念し、春の企画展(堺から世界に響け「君死にたまふことなかれ」)を開催しました。年度末に発行の報告書は、晶子の少女時代の堺の市街に焦点をあてました。

組織拡充部会

城本 多鶴子

会員拡大の会員制度が変更移行し、ペア会員(2人)がファミリー会員(5人まで)にし入会できるようになりました。現在、個人会員並びにペア会員の皆様には、お知り合いの方を是非ファミリー会員にお誘い下さいますようお願いいたします。

編集部会

太田 登

機関誌の第24号は、「晶子フォーラム2024 & 国際啄木学会2024堺大会」の特集と、鉄幹研究の小特集を組みました。また投稿作品を「潮の遠鳴り」として再生させた「短歌の広場」がより充実したコーナーになりました。

晶子フォーラム2025のお知らせ

(主催:与謝野晶子倶楽部、さかい利晶の杜)

晶子フォーラム2025

「日本古典全集刊行100年 与謝野晶子・紫式部・和泉式部」

日時 令和7年5月31日(土) 14:00~16:15 ※開場:13:30

会場 堺市総合福祉会館 大ホール(堺市堺区南瓦町2番1号)

参加費 一般1,000円、与謝野晶子倶楽部会員500円、学生無料

内容 第I部 合唱 14:00~14:30

出演:泉陽高校音楽部、ヴォーチェ・コン・カローレ、Chor.Draft、コールいづみ

第II部 講演 14:45~16:15

講師:京都先端科学大学 国際学術研究院 山本淳子教授 テーマ「与謝野晶子と紫式部」

同日、総会、交流会も開催予定



ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」

会期 華道:令和7年5月24日(土)~25日(日)の2日間

絵画/書道/文芸:令和8年1月10日(土)~12日(月・祝)の3日間

会場 さかい利晶の杜 2階企画展示室半室、1階茶室 ほか

内容 晶子倶楽部会員によるギャラリー展

観覧料 一般300円、高校生200円、中学生以下無料

(専用ハガキをお持ちの方は無料)

◆その他行事予定

- ・「晶子入門講座」「短歌を楽しむセミナー(4回連続講座)」9月~12月にかけて開催。
- ・文学踏査は、秋に京都方面へ予定
- ・第6回さかい与謝野晶子青春の短歌大会 令和7年6月2日(月)から9月8日(月)で募集予定
- 詳しくは、4月以降「与謝野晶子倶楽部」または「さかい利晶の杜」のホームページをご覧ください。

倶楽部からのお知らせ

投稿募集! 「あなたの晶子物語」を教えてください。全国の会員の皆様からの投稿をお待ちしております。

・与謝野晶子倶楽部では、一筆箋などの晶子グッズ、機関誌、歌碑巡りなどの書籍の販売をしています。商品詳細はホームページをご覧ください。

倶楽部ご入会につきましては、事務局までお問合せください。

・「潮の遠鳴り」へ投稿していただいた方に、抽選で晶子グッズをプレゼントします。



●新刊情報

「与謝野晶子の世界 第24号(通巻49号)」
与謝野晶子倶楽部

編集後記

第5号となる今号は、投稿のコーナー、倶楽部会員の声や短歌など、晶子への想いを多く掲載できました。ご投稿いただきありがとうございます。



問合せ先 与謝野晶子倶楽部事務局 〒590-0078 大阪府堺市堺区南瓦町3番1号堺市文化課内
TEL:072-228-7143 FAX:072-228-8174 MAIL:info@yosanoakiko-club.com HP:http://www.yosanoakiko-club.com

与謝野晶子通信 第5号 編集・発行:与謝野晶子倶楽部 運営委員会



第5回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会

文学踏査 令和6年10月24日(木)〜25日(金)
たつみ都志先生と行く
『晶子と紫式部の旅 京都・滋賀一泊二日』
源氏の君を訪ひに行かまし〜
行程
《10月24日(木)》
堺市役所出発↓JR大阪駅桜橋口↓風俗博物館↓
蘆山寺↓西陣織会館見学と昼食↓白鬚神社↓奥琵琶湖マキノグランドパークホテル宿泊
《10月25日(金)》
ホテル(出発)↓乙女ヶ池散策↓浮御堂散策↓石山寺・大河ドラマ館見学と昼食↓三井寺↓帰路へ

旅の感想
館 優子
旅から帰って目を閉じると藍色に染まった山々、湖面が浮かびます。暮れなずむ琵琶湖の静けさです。この光景を10年前の晶子、1000年前の紫式部も観たであろうかと思うと、なんだか嬉しいです。
晶子が愛してやまなかったという紫式部、源氏物語のゆかりの地をたづみ先生の解説で巡ることができました。とても充実した旅でした。風俗博物館の展示では一気に平安時代に迷いこんだようでした。四季折々のかさね色目は特に美しく日本人の美意識の奥ゆかしさを感じました。2日目は石山寺を訪ねました。ここは紫式部が源氏物語を執筆した所だそうです。階段をのぼり月見亭まで行きました。眼下には琵琶湖を一望できます。「願わくば石山寺の階段をのぼりきり、月見亭にて琵琶湖を照らす中秋の名月を観たい……。」という次の目標ができました。

晶子入門講座 会場・さかい利晶の杜
■第1回晶子入門講座 講師・太田 登
日時・令和6年7月7日(日)
テーマ・与謝野晶子と深尾須磨子

大賞
最悪も最愛すらもありふれたたつみひとつがいつもたくさん
与謝野晶子に続く若い世代の才能を発掘し、次世代の文化力の向上をめざして、高校生を対象に新鮮な短歌を募集する「さかい与謝野晶子青春の短歌大会」も5回目を迎え、全国62高校から14,966首の応募をいただきました。入賞者の作品を紹介します。

選者(歌人・宮中歌会選者) 今野 寿美氏
大賞
上田 朱雀(神奈川県立光陵高等学校)
与謝野晶子倶楽部賞
中川 友葉(大阪府立住吉高等学校)
堺市教育長賞
渡邊 奏音(山形県立山形西高等学校)
さいか利晶の杜賞
森岡 千尋(神奈川県立光陵高等学校)
堺市長賞
絵文字くらゐ表情豊かになれたなら世界は変わっていたのだからか
千代 はるか(東京都・学習院女子高等学校)
堺市教育長賞
夏の日汗で思い、出乱反射映し出される友との時間
中野 蒼(大阪府・関西大倉高等学校)
大阪府知事賞
負けてまたここに来ようと思うなら今は拾わぬ元土
山本 晃大(大阪府立三国丘高等学校)
産経新聞社賞
陸上のスパイクの音聞こえ夏の大会少し震えた
大屋英実里 メイ(三重県立明野高等学校)
選者賞
ゆつくりと首ふる白い扇風機僕のほうだけ見ていてほしい
岡田 晴(京都府・大谷高等学校)
雨上がり政礼のない駅の中てんとう虫の隣に座る
酒井 望睦(大阪府・関西大倉高等学校)
今日よりも明日の私は遠いから星の速さを追いかけてきた
坂本 桃花(神奈川県立光陵高等学校)
最優秀校賞
神奈川県立光陵高等学校
詳しくは、与謝野晶子倶楽部ホームページの掲載の選挙集をご覧ください。

与謝野晶子倶楽部事業紹介



■第2回晶子入門講座 講師・松永 直子
日時・令和6年9月21日(土)
テーマ・「君死にたまふことなかれ」と音楽
■第3回晶子入門講座 講師・瀧本 和成
日時・令和6年10月20日(日)
テーマ・与謝野晶子と大町桂月

参加者の声
第1回
「与謝野晶子と深尾須磨子」に参加して
若谷 佳美
歌人としての晶子だけでなく人間としての晶子の一面を知り、大変勉強になりました。驚くことも多く、「ひえ〜」という私の心の叫びが講師の太田先生に届いてたかもしれません。こんな中身の濃い深いお話を、こんなお値段で聴かせて頂いて良いのでしょうか?と思いましたが、皆様も是非、聴きにいらして下さい。

第2回
「君死にたまふことなかれ」と音楽」に参加して
河合 悦子
私が楽曲としての「君死にたまふことなかれ」に出会ったのは丁度二十年前、晶子フォーラム2004での大合唱に於いてでした。
それ以来、コーラスグループ「ヴォーチェ・コン・カローレ」の一員として幾多の場面で歌わせて頂きましたので、今回の松永先生の講義はとても興味深いものでした。
裕福な幼少期から四十六歳の若さで逝去されるまでの作曲家吉田隆子の生涯を中心に、時折ユーモアを交えながら解り易く教えて頂きました。
「君死にたまふことなかれ」を晶子と共に「隆子」にも想いを馳せてこれからもずっと歌い続けていきたいと思えます。

第3回
「晶子入門講座」に参加して
濱崎 好日
今回の講座は「君死にたまふことなかれ」を批判し

「個」の集まりが幸いした「白桜忌」発足
吹田市 川内 通生
今、客観的に回顧できる時期ともなったが、この「白桜忌」が好発進できた大きな要因は、発足させた発起人会の人的構成にあったと言えよう。
与謝野晶子の大研究家の入江春行先生(先般、ご世界となつた。ご冥福を祈り上げたい)をアドヴァイザー・まとめ役のようにいたゞきながらも、他学の大学教授・郷土史家・芸術家・私などは晶子のファンのもりであったが、職業は高校教員である―そうした、さまざまなメンバーの集まりであり、そこに、覚悟寺ご住職の河野正伸氏が加わっておいでになったわけ、まさに色々な立場の経験や発想がおのずと可能になっていく、そういう「場」であったと言えようか……。河野正伸ご住職の温かなお人柄が和気あいあいと声を出し合える雰囲気の実現を少なからずあと押しして下さったことには、今も、メンバーの一人として、私は強く感謝の意をあらわしたい。
そのおかげもあって、「白桜忌」は、いわゆる仏事のみの「忌」行事とならず、幅の広さを伴う文学講演をも毎回具現させることとなり、一般市民の皆様のご参加にもスムーズにつながり、マス・コミの取り上げるところもなっていました……。
「個」の集まりでこうして好発進させた「白桜忌」だったが、私自身は、その後、業務過多とも表現できる職場へ転勤したことで全く時間に余裕のない身となり、発起人からも遠ざかってしまったが、色々とヴァラエティーに富んでいく報に接しては、うれしく見守っていたのだった……。

晶子の偉大さ
堺市 坂中 祐介
私は、去年、図書館で与謝野晶子さんの自伝を借りて、読んでみた。言ったら、恥ずかしいながら、マンガの自伝を読んで、晶子さんの人生を知ったのですが、晶子さんは、近代短歌の相だったのですが、色んな経験をされていると感心しました。私も、短歌を詠んでいます。晶子さんから見たら、私は、まだまだ経験不足で、もっと色々な経験をしないといけないと思いました。
そのような意味では、与謝野晶子さんは、偉大だったと思えます。

静か夜のはかなきさだめ果つる音悔いなき
夏を謳いしや君
岸和田市 稲葉 明
ゆふぐれの小径を一人まかるときわが肩先
に薔薇の雨降れ
静岡県 杉山 春代

た大町桂月から見たお話でした。
桂月が批判した事により、事の重大さを察した晶子の夫 鉄幹が弁護士と他二人を連れて桂月を訪問し、批判をはね返し桂月を黙らせてしまおう、そんな裏側があったとは思いませんでした。
この晶子の入門講座に参加したのは7月に続き2回目でしたがどちらもわかりやすくとても面白い内容でした。有難うございました。

短歌を楽しむセミナー
会場・さかい利晶の杜
実際に短歌作りをしながら、楽しく短歌の世界を学ぶ、小西美根子講師による全4回(9〜12月)連続講座です。
久連山 洋子

参加者の声
短歌を楽しむセミナーに参加して
久連山 洋子
短歌を作ったのは高校時代に出された宿題しか記憶にない、そんな私が八十歳で「短歌を楽しむセミナー」に参加してどうだったでしょうか?
選択はベストでした。
小西美根子先生の絶妙な添削、批評に感じ入りながら短歌に惹かれていっています。次回も是非!

さかい利晶の杜 ニュース

与謝野晶子記念館コーナー展示
能登半島災害復興応援
「与謝野晶子・寛の北陸旅行」
令和6年12月18日(水)〜
令和7年3月17日(月)

能登半島では、令和6年元旦に、マグニチュード七を記録する大地震が発生し、さらに復旧半ばの九月には集中豪雨で大きな被害を受けました。
今から九〇年ほど前の昭和六年(一九三二)と昭和八年(一九三三)に、与謝野晶子と寛は北陸旅行に出かけた多くの歌を詠んでいます。石川県七尾市には昭和六年の正月に訪れ、その時詠んだ歌が碑となり三島町と和倉町に建てられています。
本展では、能登半島災害復興応援企画として、与謝野晶子と寛の北陸旅行で詠まれた歌から、その美しい風景を感じていただきました。また、晶子の歌碑をはじめ、石川県にある晶子ゆかりの旅館や「晶子染め体験」などを紹介するコーナーも併設し、好評でした。
本展で紹介しました晶子の歌碑について、七尾市立図書館、和倉温泉観光協会、(一社)ななお・なかのとDMOにご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。



能登町の与謝野晶子歌碑

「晶子のことば」自分らしく生きるということ
ファッションショー&トークショー
日時・令和6年6月9日(日) 会場・さかい利晶の杜

与謝野晶子さんが残した言葉の数々は、100年余りたった今も私たちに多くの気づきを与えてくれます。『自分を生きる』のために自分らしさを見つめる一日として、多様性をテーマにファッションショーとトークショーを開催しました。



与謝野晶子さんが残した言葉の数々は、100年余りたった今も私たちに多くの気づきを与えてくれます。『自分を生きる』のために自分らしさを見つめる一日として、多様性をテーマにファッションショーとトークショーを開催しました。

と中世世界の国際交流、そして晶子さんの言葉に軸に構成されました。晶子さんの言葉が書かれた服装、南蛮衣装に身を包んだLGBTQ当事者ALLY*、堺市国際交流員、さかい利晶の杜イベント講師らがモデルとしてショーに登場し、ピアノ演奏や朗読も交えたファッションショーに、多くの観客が魅了されました。
企画協力・関西アライモ実行委員会、MAYA JAPAN
*当事者を認めるためのこと